

2年学年だより

吹田市立第二中学校 第二学年 2011年6月10日発行



先日学年集会を開き、思いやり、イジメについて話をしました。その後、みんなに振り返りシートを書いてもらいましたが、とても真剣に心からの声を書いてくれて先生たちはとても嬉しいです。先生たちは、みんなとうわべだけのつきあいではなく、腹を割ったつきあいをしたいと思っています。疑問に思ったことは遠慮なくどんどんぶつけてください。でも礼儀をわきまえること、しっかり聞く耳を持つこと、これは約束してな。こちら真剣に誠意をもって回答します。一部を紹介しますね。

いけない行動をしている友だちをとめたことはありますか？
悩んでいる友だちに声をかけたことはありますか？

「自分とはめたくても、ああ言ったらなんか言われると思ったり、次は自分にやられると思うと、怖くてとめられない・・・。」

→正直に書いてくれてありがとう。無理する必要はないですよ。でも、同じように考えている友だちは必ずいるから、そういう友だちをみつけよう。1人では難しくても、2人、3人なら行動に移せるかもよ。もちろん、ご家族でも先生でもいい。「ひとりじゃない、みんながいる」です。

「ケンカでやりすぎとったらとめる。」

→えらい！（もうちょっと早くは無理かな・・・）



「自分の性格や行動のせいで嫌われ、それで何かされるとすべて、何かした方が人が悪いという人が多いと思います。悪い性格を直せと言ったりはしますが、あまりそういう人は聞きません。こういう人がからんでくると解決に何の意味もなくなる。こういう人に対する暴力行為は「いじめ」ではなく非常に強い注意の一つにみえるからです。それでも直そうとしない人は何かしてくる人を先生に怒ってもらうことで遠回しにちょっかいをかけているようにしか私には見えません。私にはこのような場合、何かした人が悪いとはあまり思えません。」

→深い意見ですね。ただ、理由があるからといって力の強い人が力の弱い人に一方的に、また継続的に暴力をふるったりいやがらせをするのは間違っている、これだけはみんなにわかってほしいと思います。

先生たちも一部だけを見て指導することがないように気をつけます。

悪い性格を直せといっても直さない人はなんで直さないと思いますか。何かストレスや辛いことを実は抱えているのかもしれないね。

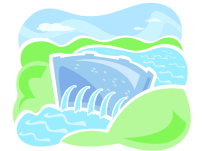
「いつも仲良くしている子や、声をかけてくれたりする子の悩みや愚痴をきいたり、解決策を考えたりしています。私は悩みを相談してくれるのは、すごくうれしい事だと思っているので、常に「何かあったらいつでも相談してな」とは言っています。」

「友だちが万引きしそうだったので「やめとけ」ってゆうてとめたことがあります。あと、むこうから声かけてきて、その子悩んでいたみたいやったから、全部話し聞いてあげた。それで私が「こうしたらいいんちゃう？」ってゆうたら「うん、ありがとう。」ってゆうて元気出てました。多分話せてスッキリしたと思います。そのあとも笑ったりしてました。」

「授業でグループをつくったりするときに、1人だけ迷ってグループに入れていなかったの、自分のグループに入れたことがあります。」

「ポツンと1人でいる子に「なあなあっ」って声をかけたことがあります。話してうちにすごく仲良くなれました♪」

「いつも友達関係で悩んでいる友達の話を聞いたら、「1人じゃないよ。うちがおるから。」と言っています。」



→すばらしい！心にダムがありますね。

「あきらかに人によって態度が違う友達がいたのでその人に注意しました。これからも注意できる人になります。」

→その友達には、あなたのような友達が真の友達なんだと気づいてほしいです。

「友だち関係がややこしくなっていたら、真剣に話しを聞いてくれたり、励ましてくれたり、支えてくれる友だちがいます。学校に行きたくないと思うときも、支えられています。」

→いい友だちですね。いつか自分が支えてあげられるといいですね。

感想・意見から

「今日、いきなり学年集会をやっていじめの話をしたということは、いまイジメがあるのかなと思った。大曲tが「君たちの力でイジメをなくす」的なことをゆってたけど先生たちの力も必要なんちゃうかなって思った。自分たちのイジメをなくす行動も必要やけど、先生たちももっと必要やと思います。」

→そのとおりですね。先生の言い方が丸投げみたいに聞こえたらごめんなさい。全然そんなつもりではなくて、先生たちだけではできないよってことを伝えたくて「イジメをなくすことができるのは君たちの力です」って言いました。みんなが笑顔でいられる学年になるように一緒に頑張りましょう。

「人の嫌がっていることは本当にやめた方がいいと思います。私はいつも同じ人と行動していることが多いのですが、他の人とも仲良くしてみたいです。(本当は・・・)」



→いつも一緒にいる人の友だちの輪も広げてあげたらどうですか？
つきあう相手を変えるのではなく、広げるのは、2人にとって、とても良いことだと思いますよ。一歩ふみ出す勇気を！

「他人を信じるのはいいことですか。信じた方がいいのですか？」
「みんなも先生もきれい事ですましている。何もわかっていない。相談しろって言われても親や先生には相談できない。言えるのは友だちくらいだけど、その友だちにも裏切られたら・・・」

→先生に相談しようって思ってもらえるように頑張りますね。なかなか人を信じられないかもしれないけど、1人で抱え込むと余計しんどくない？世の中悪いひとばかりじゃないよ。金八先生の「贈る言葉」ってゆう歌の中に「信じられぬと嘆くよりも人を信じて傷つく方がいい」って歌詞があります。先生はこの言葉が大好きです。**先生たちはあなたたちを信じています。**

「先生の話を読み、自分がかかわっているのかも・・・と正直思いました。最近、自分のクラスでも女子のトラブルが多いです。」

→トラブルの原因は何なんだろう？自分たちで解決できそうですか？

「悪口はよくないと分かっているけども言ってしまうことはありました。それはダメだと思いました。もう絶対に言わないようにしようと話を聞いて思いました。」

→ためこむとしんどいよ。ただ、ウラで陰口をいうのはよくない。相手の気持ちも考えながら、自分の意見を伝えることが大事だと思います。

「先生に言われて、自分も見ても見ぬふりをしたことあるなと思いました。なので、これからは、いじめなどをしている場面をみたら、とめたりできるように頑張りたいと思いました。」

「先生の真剣な話を聞いて、いじめがどれだけいけないものかをさらに心に刻むことができた。これから目の前で、いじめをしている子やされている子がいたときはとめたい。」

→ありがとうございます。話をしてよかったです。



『心のダム』という言葉がとても心に残りました。私は心のダムがカラカラで友だちの悪口を言ってるけど、これからは心のダムに水をはって、どんな人にも優しく接しようと思いました。」

→こういうこと書けるあなたはカラカラじゃないよ。大丈夫！

「いじめは見えないところでおきるってゆうけど、本当にそれは何があって起こったかをしっかり理解しているんですか。」

→先生たちは事がおきるにいたった背景や原因をしっかりと理解して、指導をしなければいけません。もし先生たちが一面しかみてなくて、事を進めていることがあった場合は、それは絶対に間違っていることなので、遠慮無く教えてください。

「私は好きな子、嫌いな子関係なく1人で悩んでいる子に寄り添うようになりまし。友だちは私に相談してくれるので、その悩みが解決するまで一緒にいます。クラスや学年の中に自分はイジメと思っていなくても、私からみたらイジメに見えるシーンが時々あります。その時にはその子を守るような人になります。」

「私は1年生のときに「いじめかな？」って事もやったことあるし、やられたこともある。「いじめかな？」って思っているときは、相手が悪いと思っていた。でもやられてから、ほんまにつらくなって、でも「大丈夫？」って言ってきてくれる人もいたから、今の自分があると思うから、いじめは絶対にやったらあかんと思う。だってやったら、人の人生もめちゃくちゃにしちゃうし、精神的に追い詰められて死んでしまうかもしれへんし・・・。だからイジメは絶対にやったらあかんと思う。もし見たら、絶対に「やめときや」って言える人になります。」

「先生の言っていることがすべて正しいと思った。いじめを見て笑っていてもいじめだということを知ってもらって自分の愚かさに気づいた。」

「自分が今まで人にしてきたことを考えてみたことがなくて、一年生の時の件でも一人でいる人に声をかけてあげることもできなかった。今でもたまに1人でいる人がいるけど、声をかけようという勇気がなくてできていない。そんな自分が悩んでいるとき、支えてくれる友だちがいます。悩んだり困っているとき、助けてくれる友だちがいるだけで自分にとって、とても支えになります。だから私は人を支えられるようになる。」

「改めて考えると自分もしていたなあと思った。自分もグループから急に外されたことがありました。だから、グループから外されたらどんなに辛いかわかります。ちゃんと人と向き合っていきたいと思います。卒業式には全員笑顔で卒業できればいいなあと思います。」

→そういうことに気づき、変わっていけるあなたたちは素敵です。応援しています。勉強ができて、スポーツができて、イジメをする人は人として最低です。みんなでイジメのない学年をつくらうね。

一部しか紹介できないのが残念です。
面談もはじめますので、遠慮せずどんどんぶつけてください。
一緒に考えましょう。

